

POWER  
FILE★1143FM  
94.9“ありがとう”の想いは、時代を超えて  
KBS京都開局記念特別番組「サンクス67」

## ラジオと人がふれあう冬の日。平成最後のサンクスを！

京の街に、初めてコールサインが鳴り響いたクリスマスイブから67年。KBS京都ラジオは、今年も開局記念日にちなむスペシャル企画をお送りしました。12月16日(日)、KBS京都開局記念特別番組「サンクス67」をKBSホールから公開生放送。森谷威夫アナを進行役に、オフイベントも盛り込んで、みなさんとふれあう楽しい一日をお届けしました。

今回も、地域の評判店が並ぶ「KBS京都ほっかほか朝市」を同時開催。地域の産品やグルメが集まったほか、平成最後のサンクスとして懐かしのレコード販売コーナーも登場。さらに企業や団体の展示・相談ブースなども並び、会場は活気にあふれました。

朝9時30分の開場後、10時からは「内田あやJ-Country」(火/17時30分～18時)でおなじみのシンガー、内田あやによるウェルカムライブを開催。来場者を癒しの歌声でお迎えしました。そして10時30分、「サンクス67」公開生放送がスタート。ステージ進行役の森谷アナに加えて、「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」(月～金/6時30分～10時)の笑福亭晃瓶・中村薫らが活躍する前半パートが幕を開けました。

## KBSホールを中心に京都駅ビルからも、公開生放送。



森谷アナ、晃瓶・薫に、内田あやと塩見祐子も駆け付け、賑やかなオープニング。森谷アナによる朝市レポートや、「サンクス」恒例の山ちゃんサンタ(山崎弘士)、ナミちゃんサンタ(遠藤奈美アナ)による街角レポートもお届けしました。



一方、ステージではさまざまなゲストを迎えて、お役立ち情報を発信。さらに晃瓶・薫、森谷アナ、海平和アナの4人で、わいわいトークを繰り広げるコーナーも展開。「イラっとした話」「私じゃないとこれではできない」をテーマに、各パーソナリティの素顔がのぞくエピソードトークが飛び交いました。



12時になると、オンエアは京都駅ビル駅前広場へバトンタッチ。お笑いコンビのスマイルと学天郎が、巨大クリスマスツリー前の特設ステージから「サンクス67EXTRA GIONラジオA

NNEX in 京都駅ビル メリークリスマスライブスペシャル！」を公開生放送しました。

2組の個性がぶつかりあって、オープニングから爆笑トークがさく裂。京都駅ビルのクリスマス情報を織り交ぜながら、会場のみなさんを巻き込むゲームでも盛り上がりました。4人の男っぷりを示すクリスマスのプロポーズ勝負や、クリスマスソングのイントロクイズなどで大騒ぎ。恒例の「ミッションGIONポッシブル」コーナーでは、お題に沿った観客を会場から探し出し



てステージに招きました。13時のオンエア終了後も、京都駅ビルはスマイルと学天郎のお笑いライブで沸きあがりました。

京都駅ビルからの公開生放送の時間、KBSホールでは「天皇盃全国車いす駅伝競走大会×障害者芸術アーカイブ」啓発イベントを実施。久米村直子、森谷アナ・海平アナが、障害者芸術をテーマに、学ぶ、考えるステージを展開しました。

## ラジオレジェンド3人が勢揃い。平成を振り返るスペシャル。

13時から、またまたKBSホールから公開生放送。「平成Final～音と出会いの30年～」と題してお届けしました。平成最後の年を締めくくる企画に「滝ツールのおつかれさん！」(火/18時～19時、19時30分～21時)の滝ツール、「羽川英樹の土曜は旅気分」(土/8時30分～11時55分)の羽川英樹、「久米村直子のSuperDuper Sunday」(日/14時～17時)の久米村直子が参戦。KBS京都ラジオが誇るトークの達人が勢揃いし、賑々しいオープニングとなりました。

平成年表をたどりつつ、過去30年間の芸能界を好き勝手に語り尽くす3人。さらに滝は「平成のKBS」と題してKBS京都ラジオの歴史を回顧。若かりし頃の滝本人や局アナの秘蔵写真を公開し、会場を沸かせました。自身のオリジナル曲も流し、滝カラー全開で突っ走ったコーナー。対して久米村担当の「洋楽DJショー」は、羽川と滝を巻き込んで展開。久米村の弾丸トークにのせてレジェンドDJの二人がレコードをかけ、洋楽に浸る時間をお届けしました。また、羽川とひげのマスターによるデュオ「ザ☆ぼん」のオンステージも繰り広げられ、懐かしの曲に観客席が揺れました。

ゲストコーナーでは、「ホリー&春さんの祇園恋物語」(月/20時～20時30分)の柳田道春をはじめ河内眼科院長の河内敏先生らを迎え、平成をキーワードにした音楽トークを展開。京都府健康福祉部の方々を迎えたコーナーでは、毎年京都で開催されている車いす駅伝や、障害者芸術について伺いました。年齢や言葉の壁を超えるユニバーサルデザインの話もクローズアップ。すべての人に優しい社会について考えるひとときとなりました。



山ちゃん・ナミちゃんサンタによるレポートも盛り込みながら番組は進行。終盤には、リスナーから募集した「みんなが選ぶ平成の一曲」を発表。選ばれた「世界に一つだけの花」を会場みんなで大合唱し、平成最後のサンクスはフィナーレを迎えました。

人と音楽を通じて、平成を振り返ったオンエア。KBS京都ラジオも、たくさんの人に支えられてここまでの道のりを歩んできました。これからも人のそばに暮らしのそばにあるラジオをめざして、新しい時代に向かっていきます。

KBS京都Radio